



## 今月の表紙

### 小林早乙女おどり

小林地区で、400年以上受け継がれている民俗芸能の伝統行事「小林早乙女おどり」が、2月2日行われた。今年は小林区長の角田勝昭さん宅をはじめ、全5軒と新築住宅1軒を回り、今年一年の家内安全や五穀豊穡を祈願した。

## 自然首都・只見

学術調査研究成果発表会..... 2~5

目黒町長と町議会が要望活動 他..... 6~7

町の話..... 8~9



「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会が1月20日、朝日地区センターで開かれ、町内外から約60人が来場、学術調査研究助成補助金の交付を受け、只見町の自然について調査研究された研究者4名の研究成果を聴講しました。

今回、発表された研究者4名の皆さんの研究成果について要旨をご紹介します。このような研究によって只見町の貴重な自然の価値が明らかになっていくことが期待されます。



▲大勢の方々が来場された発表会



## 只見の山地溪流沿いに 見られる森林の構造

横浜国立大学大学院環境情報学府修士課程

さいとう まさと  
齊藤 真人さん

山地の谷間を流れる溪流沿いでは、山腹斜面とは異なる独特の森林が成立しています。このような森林は「溪畔林」と呼ばれています。これまでに全国各地で溪畔林に関する調査が行われてきましたが、只見のような豪雪地帯での研究はほとんど行われていません。そこで私は、只見の溪流沿いの森林にはどのような樹木が生育しており、他の地域と比べて何か違いがあるのかを調べました。

調査は只見町内の5カ所の溪流（餅井戸川、西の沢、東の沢、倉谷川、塩の岐川）で行いました。調査方法は河川沿いに調査枠を設置し、その中に出現する樹木を記録していく方法をとりました。

調査で得られた結果を簡単に紹介します。まず只見では全体的にみると溪流沿いにまでブナが多くみられるという結果が得られました。他の地域の溪流沿いの場合、サワグルミ、トチノキといった溪流沿い特有の樹木が多くみられますが、只見の場合は溪流沿いでも山腹斜面の代表種であるブナが多いということが大きな特徴として挙げられます（図1）。また、只見の中でも場所により溪流沿いに見られる樹木は異なっていました。只見の中でも東寄りの倉谷川（写真1）や塩の岐川では

他の地域の溪流沿いで一般的な種であるサワグルミやトチノキなども見られるのに対し、西寄りの餅井戸川ではブナが多く、他の樹木はあまり見られませんでした。

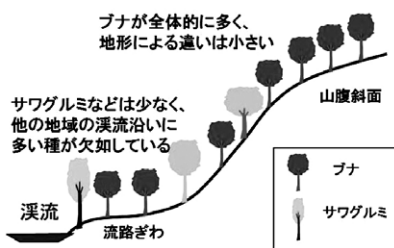
このように只見の溪流沿いの森林に生育する樹木が他の地域とは異なっており、さらに只見の中でも場所により違いが見られる原因として、雪の量の違いや地質の違いが原因として考えられます。まず雪の影響ですが、只見のような豪雪地帯では、豪雪に耐えられる樹木しか生き残ることはできません。他の地域の溪流沿いに見られる樹木が豪雪に耐えられずに出現しておらず、その代わりに雪に強いと考えられるブナが多く出現していると考えられます。只見の中でもより雪の量の多い西寄りの地域でブナが多いという結果も雪の量と無関係ではなさそうです。また只見の中では場所により地質が異なっています。地質が異なれば河川沿いの地形や土壌の性質に違いが生じるため、只見の中でも場所により異なった樹木が見られる要因となっていると考えられます。このように只見の溪流沿いの森林は他の地域で見ることのできない特有のものであると言えるでしょう。

私自身、昨年調査で只見を何度も訪問させて頂きましたが、

只見の自然は驚きの連続でした。自分の研究テーマに関してはもちろんですが、春の残雪の中の新緑の美しさや、夏の爽やかな溪流の流れなど、普段都会で生活していると感じることでできない只見の自然の豊かさに触れることができ、貴重な経験となりました。研究に関しては、まだまだ1年間の調査では明らかにできていない部分も多くあります。今後も只見での研究を継続し、只見の自然が持つ不思議さの一端を明らかにしていきたいと考えています。



▲写真1. 倉谷川の溪畔林



▲図1. 只見の溪流沿いの模式図



# 伊南川で発生した大規模な河川攪乱 (平成23年7月新潟・福島豪雨)が 山地河畔林に与えた影響

新潟大学大学院 環境科学専攻 流域環境学コース  
新国 可奈子さん

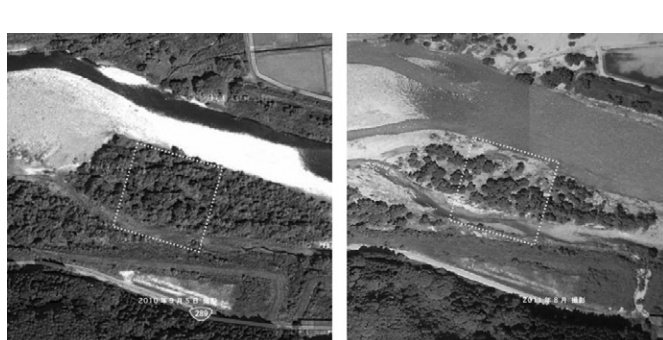
水辺林とは、河川、溪流、湿地などの水辺周辺に分布する森林のことを言います。ここに分布する樹木は洪水や土砂崩れなどの攪乱が頻繁に起る場所で生育しています。中でも、只見川や伊南川のような山間地を流れる河川で、谷底の広い氾濫原(川原)に成立する森林を山地河畔林と言います。平成23年7月の新潟・福島豪雨は100年に一度起きるような大洪水を引き起こし、山地河畔林に大規模な攪乱を与えました。今回、この洪水によって大規模な攪乱を受けた只見町長浜杉沢地区の山地河畔林に1haの調査区を設け、攪乱がこの林の構造や立地環境(光・土壌・水分・温度)にどのような影響を与えたか、またヤナギ属の実生の発生について調査を行いました。

調査の結果、図1の空中写真(提供:福島県土木部河川港湾総室河川整備課)からもわかるように、豪雨による伊南川での大規模攪乱は、大きな地形変化と林分構造の変化をもたらしました。攪乱後の林分構造として、調査区には17種236個体の生残木と115個体の被害木が分布していました。胸高断面積合計から、この森林にはシロヤナギ、ユビソヤナギ、サワグルミが優占していました。流路に挟まれた調査区中央部には、胸高直径が大きいユビソヤナギやシロヤナギなどの林冠を構成する種が多く生育し、反対に、流路側付近では多くの被害木が位置していました(図2)。被害木は、樹皮が大面積にわたって剥がれているほど、樹木から芽が出ている割合(萌芽率)が高くなる傾向にありました。調査区中央部は、流路側の環境と比較すると、水面からの高さ(比高)は高く、光環境は暗い(開空率が低い)結果となりました(図2)。比高が高い場所には、草本植物や豪雨による堆積物(デブリ)が多く残っていることから、豪雨による土壌攪乱が比較的小さい場所であったことがわかります。反対に、流路側付近は、調査区中央部と比べて水面からの高さが低く、大小の礫が多く存在していました(図2)。また、光環境は明るい結果となりました。

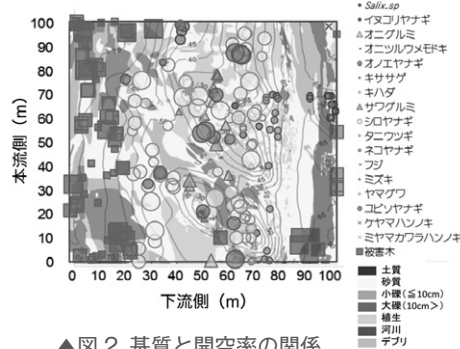
ヤナギ属樹種の実生は、発芽後、急速に枯死し、その後は緩やかに減少する結果となりました。実生が確認された調査区は、6月17日では全35区のうち24区、9月25日では10区のみでした。実生の発芽初期(7月初旬)には、50℃を超える地表温度の急上昇がみられ、この地表温度の急上昇が実生の生死に大きく関与したと考えられました。発芽初期の実生の生存率が

高い調査区の環境としては、土壌が砂質、もしくは砂質と礫が混合している場所、開空率が20~40%と比較的明るい場所、土壌が湿りやすく、適度に水分を保持する土壌であることがわかりました。

以上のように、豪雨による大規模攪乱は、伊南川における山地河畔林に大きな地形変化と林分構造の変化をもたらしました。それによって、モザイク状の多様な環境が形成されたと考えられます。このような攪乱によって、ヤナギ属樹種の実生の発芽が促進され、今後新たな河畔林の更新の引き金になることが予想されます。



▲図1. 空中写真による調査地の比較



▲図2. 基質と開空率の関係

今後は、本研究助成の趣旨にもありますように、こうした貴重な自然を守り、保全していきたいと思えます。





# ブナが育つのはどのような場所か 「今年度発芽したブナ実生の運命とは」

東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園

みやした あやな  
宮下 彩奈さん

只見町の山林にはブナが多くみられ、ブナはしばしば他の樹種よりも優占的に生育しています。しかし、なぜブナが他の木よりも多いのか、そもそもブナが育つのはどのような環境が適しているのか、未だ明確ではありません。我々の調査では、ブナの成長や優占に関わる環境要因として光と積雪をとりあげ、これらの環境要因がブナの何にどれだけ影響を与えるのか定量的に明らかにしたいと考えています。今年度はブナ生育の舞台である日本海側山地において、どれくらいの光が得られるのかを実測し、どのような場所ならブナが成長を続けうるか決定しました。

只見町の要害山に、地形や明るさの異なる7つの調査区を設け、各調査区の中心で1分毎の光強度を測定・記録しました(図1)。同時に調査区内のブナ当年実生(その年の春に芽生えた実生)の生存率の計測を、およそ1ヵ月毎に行いました。得られた光強度データから、サイトの明るさの指標として、7月から10月にかけての平均的な1日あたりの総光量子束密度を計算しました。著者らの過去の研究から、どの程度の明るさがあればブナが成長を続けられるのか分かっていないため、それをもとに要害山の各サイトにおけるブナの成長可能性を決定しました(表1)。要害山では、頂上付近や尾根の、大く小のギャップがあるような場所では、ブナ実生が成長を続けていけるだけの明るさがあることがわかりました。夏の間のブナ当年生実生の生存率はどの調査区でも概ね8割以上と良好でしたが、生存率の大小には調査区の明るさとの関連がみられました。明るさの効果が目立つようになるのは、種子の蓄えが無くなり今年度の稼ぎの大小が効いてくる来春以降になると考えられます。

今年度は、まずは日本海側の山地に深く関わったことが一番の楽しみでした。我々が普段過ごしている日光植物園付近の山地は、実は太平洋側に属します。そのため只見近辺の山地には色々新鮮な驚きがありました。来年度以降は、これぞ日本海側の特徴というべき積雪環境について取り組みたいと考えています。地形の違いとそれに伴う雪の効果の違いでブナの生存・成長可能性を評価すべく調査を行う予定です。どのような成果が得られるか楽しみます。



▲図1. 調査区と上層環境の例。頂上ギャップサイトの上層(左上)と同サイト(左下)、西斜面林床サイト3の上層(右上)、頂上林床サイト(右下)。

調査区名		明るさ (mol m <sup>-2</sup> day <sup>-1</sup> )
要害山	頂上ギャップサイト	8.43
	頂上林床サイト	3.40
	東斜面	1.14
	西斜面林床1尾根	1.97
	西斜面林床2	0.81
	西斜面林床3	1.14
	雪崩斜面	1.60

▲表1. 各調査区の明るさ(7-10月間の、1日の総光量子束密度の平均値)。着色部(濃)はブナ実生が成長を続けられると見込まれる明るさ、着色部(薄)はギリギリ成長を続けられるかどうかという明るさ。無色の部分程度の明るさでは継続した成長は見込めない。





# ヒメサユリはなぜ只見に 生育するのか？

首都大学東京理工学研究科

かわらざき さとこ  
河原崎 里子さん

梅雨から初夏にかけてピンク色の可憐な花を咲かせるヒメサユリを只見町ではしばしば目にしますが、本種は環境省絶滅種リストに準絶滅危惧種として名を連ねています。ヒメサユリは福島県の会津地方、隣接する新潟県・山形県、宮城県南西端部の比較的狭い範囲の多雪地域に分布します。私たちは、ヒメサユリが生育地の環境とどのように結びついていくかを解明し、保全に役立てたいと考えました。

野外でどんなサイズの個体が生育し、どれくらい花や種子をつけるかという基本的な情報を得る調査を、スキー場、百合平、柴倉山尾根上の刈払い地、浅草岳山頂の草地で行いました。場所ごとに個体の密度は異なっていました。特に実生（芽生えたばかりの幼个体）の密度はスキ1場で35・4個体/m<sup>2</sup>、柴倉山で2個体/m<sup>2</sup>と大きく異なりました。非開花個体は開花個体と同数、ないし4倍程度存在していました。実生や非開花個体の存在は、これら調査地でのヒメサユリの将来的な存続を示すでしょう。

梅雨から初夏にかけてピンク色の可憐な花を咲かせるヒメサユリを只見町ではしばしば目にしますが、本種は環境省絶滅種リストに準絶滅危惧種として名を連ねています。ヒメサユリは福島県の会津地方、隣接する新潟県・山形県、宮城県南西端部の比較的狭い範囲の多雪地域に分布します。私たちは、ヒメサユリが生育地の環境とどのように結びついていくかを解明し、保全に役立てたいと考えました。

野外でどんなサイズの個体が生育し、どれくらい花や種子をつけるかという基本的な情報を得る調査を、スキー場、百合平、柴倉山尾根上の刈払い地、浅草岳山頂の草地で行いました。場所ごとに個体の密度は異なっていました。特に実生（芽生えたばかりの幼个体）の密度はスキ1場で35・4個体/m<sup>2</sup>、柴倉山で2個体/m<sup>2</sup>と大きく異なりました。非開花個体は開花個体と同数、ないし4倍程度存在していました。実生や非開花個体の存在は、これら調査地でのヒメサユリの将来的な存続を示すでしょう。

茎長が50cmを超えるとほぼ確実に開花し、茎長が長いほど花の数は増えるという直線的な関係がありました。また、茎長と葉数、葉数と花の数にも直線的な関係がありました。葉数と花の数の直線の式を解くと、葉数が12・5枚の時に開花を開始し、葉が7・2枚増えるごとに花が1つ増えることになりました。葉は光合成を行う物質生産器官です。物質生産能力が高いほど花をたくさんつけることがわかりました。

集団を維持したり、繁殖に関係したりする数値をタカサゴユリと比較しました。タカサゴユリは約100年前に園芸用に台湾から導入されて以来増殖し、いまや西日本の全域に分布、東日本の太平洋側を北上して宮城県に至り、高速道路法面や草地などで旺盛に成長しています。群生地での個体の密度は開花個体、非開花個体、実生のいずれもヒメサユリより、タカサゴユリの方が高く、特に実生密度が圧倒的に高くなりました（表）。開花個体がつける平均の花の数は、ヒメサユリの方が2・5倍多いですが、ヒメサユリの果実あたりの種子数は5分の1ほどで、開花個体が生産するヒメサユリの種子数（603個）はタカサゴユリの半分しかありません。さらに、タカサゴユリの種子重はヒメサユリの1/3で、たくさんの軽い種子を広く散布できることが窺えます。しかも、ヒメサユリは花が果実に成熟する割合が極端に低いものでした。両種の個体密度の違いは種子を



◀今年度の調査で最も多くの花（つぼみを含め8個）をつけていた個体

生産したり、散布したりする一連の過程における能力の差によるのでしよう。

タカサゴユリは大量の種子を遠くまで散布して分布域を拡大する競争的な種と考えられます。一方、ヒメサユリは分布域を維持する戦わない種かもしれませんが、多雪地域という特殊な環境に生育するのは、そのためかもしれません。多雪環境（低温や短い生育期間）は植物の成

長にとつて有利ではないため、多くの植物はそれを回避します。ヒメサユリは競争を避け、多雪によるメリット（乾燥を避ける、極端な低温にならない、無駄な呼吸を避ける）を享受しているのかもしれませんが。ヒメサユリの保全には戦わない環境を守る事が大事なのかもしれません。（タカサゴユリのデータは苦米地（2006）による）

	ヒメサユリ	タカサゴユリ
開花個体密度（/m <sup>2</sup> ）	1.3-2.0個体	6.4個体
非開花個体密度（/m <sup>2</sup> ）	1.4-4.4個体	6.5個体
実生密度（/m <sup>2</sup> ）	2.0-35.4個体	168.0個体
果実あたりの種子数	201粒	1030粒
開花個体あたり平均花数	3.0個	1.2個
開花個体あたり平均種子数	603個	1211個
結果個体率	6.3-20%	72%
種子重	3.6 mg	1.1 mg

▲表 ヒメサユリとタカサゴユリの比較



JR只見線の早期復旧を要望  
目黒町長と町議会が要望活動

JR只見線の只見駅から会津川口駅の間が豪雨災害の影響で不通になり、いまだ復旧の見通しがつかない問題や、田子倉駅の存続を求め、目黒町長と齋藤町議長はじめ町議会議員が1月15日にJR東日本本社を訪れ、高橋眞取締役経営企画部長に要望書を手渡ししました。目黒町長は「田子倉駅

は豪雨災害からの復興に向け必要な駅であり、今後も存続に向け努力していく」と述べました。

翌16日には、国土交通省をはじめ県選出の国会議員15名に対しても同要望書を手渡し、只見線の早期全線再開と田子倉駅の存続などを強く求める要望活動を行いました。



▲高橋眞経営企画部長に要望書を手渡す目黒町長(右)と齋藤議長(中央)

活力ある地域社会の再生に取り組んでいく  
平成25年只見町新年交歓会

平成25年只見町新年交歓会が、1月5日に季の郷湯ら里で行われ、町内外から新年を祝おうと140名が出席、新年の抱負などを語り合いながら親交を深めました。

交歓会では、目黒町長と齋藤邦夫町議会議長が年頭のあいさつを述べ、続いて、来賓の玉井章福島県南会津地方振興局長と星公正福島県議会議員から祝辞をいただきました。

次に、只見松楓会の皆さんによる謡で新年の門出を祝い、菅家二千六只見町区長連絡協議会長の音頭で乾杯をし、祝宴に入りました。アトラクションには、ひとみの会の皆さんにご出演いただき、新春にふさわしい舞踊3曲をご披露いただきました。

最後に、佐藤孝義只見町議会議務厚生委員長が音頭をとられ、出席者全員の方歳三唱で閉会となりました。



▲さらなる町政の発展を願い全員で万歳三唱

只見中学校スキー部健闘  
福島県中学校体育大会スキー競技大会

第55回福島県中学校体育大会スキー競技大会のアルペンとクロスカントリー競技は、1月15日から17日の三日間、金山町のフェアリーランドかねやま・太郎部高原クロスカントリーコースで開かれ、只見中学校の特設スキー部が出場し、健闘しました。結果は、全国中学校スキー競技大会に2名、東北中学校スキー競技大会には5名の選手が出場を決めました。また、クロスカントリーの男子リレーで第2位に入賞、さらに、男子総合で第4位、男女総合では第6位という成績を残しました。

全国大会への出場権を手にした選手を紹介します。

全国中学校スキー競技大会 出場選手 (2月2日～2月6日 富山県)			
馬場 那央也さん	2年	男子クロスカントリーフリー(第2位)	出場権 6位まで
山内 結さん	3年	女子クロスカントリーフリー(第7位・繰り上がり)	〃



▲すばらしい活躍を見せた只見中スキー部のメンバー



町民が安心して暮らせる安全な町づくりに全力を…  
只見町消防団出初め式

1月6日、朝日地区センターで平成25年只見町消防団出初め式が行われ、副班長以上の幹部団員と関係者ら80名が参加しました。消防長の目黒町長が「緊急時の迅速な活動に感謝します。これからも、消防団としての職責を全うされ、防火意識の高揚と、町民が安心して暮らせる安全な町づくりに日々の努力をお願いします」と訓示を述べました。

また、鈴木好行消防団長は「本年も、消す消防よりも出さない消防を心掛け活動する。消防団員の皆さんには、健康に留意のうえ、献身的消防精神を堅持され、さらに力強いご協力をお願いします。平穏な年になるよう願う」と訓示を述べました。参加した団員は、年頭を迎え新たな気持ちで今年一年の無災害を誓い合いました。



▲消防長の閲団を受ける団員

第30回南会津地方統一防火標語で  
田中ケイ子さんが最優秀賞

南会津消防設備協会と南会津地方広域市町村圏組合消防本部が募集した第30回南会津地方統一防火標語コンクールで、田中ケイ子さん（蒲生）の作品が最優秀賞に選ばれました。表彰式は12月14日に南会津地方広域消防本部（南会津町）で行われ記念の盾などが贈られました。田中さんの標語は今後一年間、火災予防のPR活動に活用されます。只見町からは2名の方が優秀賞にも選ばれました。皆さんの作品は次のとおりです。



▲最優秀賞の田中さん

【最優秀賞】

「あぶないよ あなたの声で 火災ゼロ」  
田中 ケイ子さん（蒲生）

【優秀賞】

「出かけるよ 火の元確認 まず先に」  
馬場 直子さん（蒲生）

「住警器 付けても必ず 目で確認」  
岩 佐 幸さん（黒谷）

只見毎日杯ジャイアントスラローム大会

1月27日、第40回只見毎日杯ジャイアントスラローム大会が、只見スキー場で開かれ、小学1年生から64歳までの67人がエントリー、ベストの滑りでタイムを競いました。

競技者はレベルの高い華麗なスキーコントロールでゴール目指しスキーを滑らせていました。

順位のタイムは、2本滑走した合計です。成績は次のとおりです。（敬称略）

男子

- 【小学1部】①大河原聖慈（たかつえレーシング）1分25秒81
- ②関本悠太郎（熱塩加納スキースポーツ少年団）③芳賀健太郎（たかつえレーシング）
- 【小学2部】①菊地朝仁（たかつえレーシング）1分12秒93
- ②渡部賢太郎（只見町スキースポーツ少年団）③目黒冬馬（南郷ジュニアレーシング）
- 【中学】①白岩拓朗（いいでレーシングスポーツ少年団）1分11秒44
- ②川又洸希（たかつえレーシング）③目黒裕大（只見町スキースポーツ少年団）
- 【少年】エントリーなし
- 【成年1部】エントリーなし
- 【成年2部】①齋藤聡（只見スキーチーム）1分12秒92
- ②吉田

女子

- 【小学1部】①菅野桃子（熱塩加納スキースポーツ少年団）1分28秒26
- ②橘さくら（檜枝岐スポーツ少年団）③鈴木来菜（只見町スキースポーツ少年団）
- 【小学2部】①白岩真帆（いいでレーシングスポーツ少年団）1分17秒71
- ②福地芽生（熱塩加納スキースポーツ少年団）③鈴木虹々（熱塩加納スキースポーツ少年団）
- 【中学】①目黒綾菜（南郷ジュニアレーシング）1分13秒04
- ②三瓶美鈴（門田スキースポーツ少年団）③大河原心（たかつえレーシング）
- 【一般】エントリーなし



▲果敢にポールを攻める選手



**燃** 歳の神「オンベ」  
え上がる炎に無病息災を祈願



▲二軒在家地区のオンベ



▲塩ノ岐地区のオンベ

町内の各集落で、歳の神「オンベ」が行われ、地区の皆さんが大勢集いました。2月3日は二軒在家地区や塩ノ岐地区などで「オンベ」に火が放たれ、集まった地区の方々は夜空に舞い上がる炎で餅を焼いて食べ、無病息災や家内安全を祈願していました。

**只** 「自然首都・只見」展  
見の自然とエコパークへの取り組みを紹介

只見町ブナセンターが主催する「自然首都・只見」展が神奈川県横浜市の県民センターで12月24日～27日に開かれ、期間中延べ約300人が訪れました。会場では只見の自然や暮らしをパネルで紹介、併せてユネスコエコパークの取り組みも鈴木和次郎館長が説明しました。さらに町の物産やツル細工なども展示販売され、来館者の目を楽しませました。また、ブナセンター主任指導員、渡部和子さんの講演も好評で大勢の市民らが集いました。



▲只見の魅力をPRしたブナセンター企画展

**只** ブナセンター講座  
見で出会った巨木たち



▲只見の巨木の特徴などを説明する刈屋寿氏

1月19日に、ブナと川のミュージアムで弥彦山脈植物友の会会長の刈屋寿氏を講師に、ブナセンター講座「只見で出会った巨木たち」が開かれ、17名が参加しました。刈屋さんは「只見町史」を刊行するため、平成6年～12年まで只見町の植物を調査され、同時に巨樹や巨木も調査、「巨樹・巨木の番付表」制作にも携われました。刈屋さんは「今後、新しい巨樹・巨木が見つかる可能性がある。大きな木を見たらブナセンターへ」と呼びかけられました。



## カ 新春カルタ会 カルタを見つめ、すばやくタッチ

明和保育所では、1月22日に新春カルタ会が開かれ、保育所見約40名が参加しました。5~6人のグループに分かれた児童は、真剣にカルタを見つめ、所長先生が読み上げると、元気に「はい」と声を出し、すばやくカルタに手を伸ばしていました。最後に、たくさん取った順に1位から3位を表彰、さらに、がんばり賞と併せみんなにワッペンが贈られ、笑顔で胸に付けてもらっていました。



▲真剣な表情でカルタに手を伸ばす保育所児

## 小 黒谷町蓮の原地区「天神講」 学生が「天神」と書きあげ書を学ぶ



▲天神講は今に伝わる貴重な地域行事のひとつ

黒谷町蓮の原地区の小学生20名が1月26日に朝日地区センターに集い「天神講」が行われました。「天神講」は古くから伝わる子どもを対象とした行事で、集まった子どもたちは、学問の神様と伝えられる天神様の「天神」の文字を毛筆で書き、書を学びながら触れ合いました。その後、保護者の皆さんが準備したごちそうを食べながら健やかな成長を願いました。なお、天神様の祠は黒谷地区にあります。

## ほ ほうきづくり教室 ほうきを作りながら楽しく交流

朝日地区センターで、1月27日に「ほうきづくり教室」が開かれ、約10名がオリジナルのほうき作りに挑戦しました。講師には、しめ縄や座敷ほうき作りをされている渡部稔さん（福井）が招かれ、参加者は講師の指導を受けながら同センター前の花壇で育てたホウキモロコシを材料に丁寧にほうきを作りました。最後には、できあがったばかりのほうきを使って後片付けをし、感触を確かめました。



▲真剣にほうきを作る参加者

## い 粘土細工教室 いろいろな粘土を組み合わせ作品づくり



▲細かい作業に取り組む参加者

明和地区センターで、1月25日に「粘土細工教室」が開かれ7名が参加、指導されているのは五十嵐誠子さん（南会津町）で、参加者は手工芸用の樹脂粘土や石粉粘土などを使い、粘土に塗料を混ぜて練りながら思い思いの形に仕上げていました。作っている作品は、飾り花や額に入れて飾る花嫁・花婿、弁天様などで、どれも細かいパーツを一つ一つ仕上げ、それを貼り付けて作品を完成させます。この教室は全6回行われ、作品は公民館まつりで展示されます。





# 先生のLife in JAPAN Vol.25

■ Anna・George  
・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。  
・2010年8月から只見町英語指導助手。  
・小学校と中学校で語学の指導を行います。

明けましておめでとうござい  
ます。冬休みはイギリスに帰り  
家族や友人とすばらしい時間を  
過ごしました。何人かの友人に  
は2年ぶりに会うことができました。

この冬も楽しみないイベントが  
やってきます。まずは今年も相  
撲を見に東京に行ってきます。  
これは日本に来て毎年楽しみに  
していることの一つです。そし  
てもうすぐ只見の雪まつりがや  
ってきます。おいしい食べ物と、  
美しい雪像を見るのが待ち遠し  
いです。

小学校ではいま「冬」に関す  
る言葉を楽しく学習していま

す。小学生の子どもたちが新し  
い単語を覚える早さに感激して  
しまいました。さらに子どもた  
ちが本当に上手に英語を話して  
くれて、うれしく思います。

小学校では節分の行事を行  
います。私はラッキーなことに毎  
年参加させていただき、いつも  
楽しんでいきます。そして私があ  
らう一つ楽しみにしているイベン  
ト、バレンタインデーがやって  
きます。キュートなチョコレ  
トセットやキラキラターゲット  
がある日本のバレンタインが大  
好きです。

(訳・只見中・平野)



## 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 中曾根 悦子

### 『肺の生活習慣病 COPPD (慢性閉塞性肺疾患)』

みなさんこんにちは。春が待ち遠しい今日  
この頃ですね。今回は、COPPD (慢性閉塞  
性肺疾患) についてお話ししたいと思います。

近年、テレビでも「肺の老化」 COPPD  
とって宣伝されるようになりました。CO  
PPDは、タバコなどの有害な空気を吸い込む  
ことによって、空気の通り道である気道(気  
管支)や、酸素の交換を行う肺(肺胞)など  
に障害が生じる病気です。その結果、空気の  
出入れがうまくいかなくなるので、通常の  
呼吸ができなくなり、息切れが起こります。

長期間にわたる喫煙習慣が主な原因であるこ  
とから、COPPDは「肺の生活習慣病」とい  
われ、社会的にも注目を浴びています。また、  
自分はタバコを吸わなくても近くに吸ってい  
る人がいる場合を、受動喫煙といいますが、  
それによってもCOPPDは発症することがあ  
ります。喫煙以外の原因として、大気汚染や  
職業的な塵埃や化学物質などがあります。

COPPDと喫煙の関係ですが、COPPD患  
者さんの約90%に喫煙歴がある一方、COP  
PDの発症率は喫煙者の約20%とも言われ、も  
ともとの遺伝的要素、タバコ煙への感受性な  
どの影響があります。

代表的な症状は「息切れ」です。特に体を  
動かしたとき、例えば階段を上り下りすると  
きや坂道を上るときに気づきます。また、同

年代の人と一緒に歩いていて、他の人より歩  
くペースが遅れてしまう、といったこともみ  
られます。しつこく続く慢性の咳と痰や、風  
邪を引いたときや運動をしたときの喘鳴(ぜ  
いぜいする)も、COPPDの症状です。また、  
朝方や、台風などの低気圧が来るころ、季節  
の変わり目に、「ぜいぜい」がひどくなるの  
もCOPPDの可能性があります。

次のような、状態があるときは、COPPD  
を考え受診をしてください。

- ① 40才以上で、タバコを吸っているまたは吸  
っていた。
- ② しつこく続く咳、痰。
- ③ 階段を上った時や、平らなところでも少し  
急いで歩くと息切れがする。

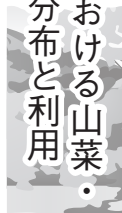
検査は、肺機能検査、レントゲン、CTな  
どがあります。治療は、第一に禁煙、次に風  
邪予防・予防接種(肺炎球菌ワクチン、イン  
フルエンザワクチン)、薬(吸入薬など)です。  
また、呼吸リハビリテーションも有効です。  
具体的には、1日15〜20分程度の無理のない  
散歩(下肢の筋力トレーニング)、呼吸筋体  
操(深呼吸、口すぼめ呼吸)などです。

COPPDは症状に気づかず、発見が遅れが  
ちな病気です。喫煙歴があり、動いた時の息  
切れ、慢性の咳や痰があったときは、COP  
PDを疑い、受診をしてください。



## 共有林はムラの財産〜只見町の共有林に学ぶ〜⑥

### 共有林における山菜・キノコの分布と利用



#### 評価

只見町の特徴のひとつは、山菜やキノコ採りが古くから盛んなこととです。私は2008〜2010

春先から晩秋にかけてどのような種類や量の山菜・キノコが採られているか？ 世代や性別で活動に差があるか？ 町全体での経済価値の大きさは？

#### ②〈生育地・採取地の環境〉

種類により生育地や採取地の環境条件にどのような共通性や違いがあるか？

#### ③〈共有林の利用ルール〉

持続的な採取のためにどのような工夫やルールがあるか？

「報告だみ」に少しご紹介しましたが、その後をふまえた成果の概要を町民の方々に十分お伝えできていませんでした。そこで本号では、私が担当した調査結果と現在進行中の共有林の調査について簡単にご紹介します。先の調査では、森林や草地にさまざまな生き物がいることで地元の方々がどのような恵み（生態系サービス）を得ているかを定量評価することを大きな目的に、山菜・キノコ採りに着目して、つぎのような問いについて調べました。

#### ①〈採取活動の実態把握と経済

まず①では、60〜70歳代を中心に頻繁に採取が行われ、山菜・キノコそれぞれ十数種類がよく採取されていることなどが集落全戸へのアンケート調査から分かりました。また、十数名の地元男性に2年間にわたり採取日誌をつけてもらい、採取時間・種名・重量・使途・採取場所の特徴を記録してもらいました。ここからは、時期ごとに場所を変えつつさまざまな山菜・キノコを採取していることや自家消費が多いものの近所や親戚へのおすそ分けや知人への販売も多いことなどが分かりました。さ

らに、種類ごとの採取重量と直販所などでの平均単価を掛けあわせて自家消費分を含めた経済価値を試算すると、採取時間をコストと捉えなければ、採取量がかつてより大幅に減った現在でも町全体で数千万円の潜在的な価値が毎年発生していると推計されました。

つぎに②では、只見町の植生分布、地形条件（斜面の傾き、日当たり、尾根や谷からの近さ）、道路からの近さなどをパソコンの地図上で計算し、山菜の種類ごとの生育地・採取地がどのような場所に多い傾向があるかを調べました。その結果、山菜は全般に沢沿いや雪崩地に多いものの、種類によって分布特徴に差があることや、雪解けを追って採取場所が奥山に移りゆく様子などが捉えられました。また、ゼンマイのように、林内にも細いものが散在するものの、太いものが密生する雪崩地でも多く採取されていることなども捉えられました。

最後に③では、聞き取りや採取同行調査から、共有林の利用ルールとその変遷には地区ごとの違いが大きいことが分かり、別途詳しく調べることになりました。現在

調査中の内容は、只見町内のいくつかの集落における過去（1960〜80年代）の植生図の復元と、当時の森林・草地の利用状況の推定です（難しそうですが）。それらを通して、共有林の面積・地形・道路分布などの環境の違いが、集落ごとの山菜・キノコ採りのルールの違いやその変遷にどのように影響しているかを調べられないかと考えています。

上記①と②についてはいろいろ興味深い結果が得られてきていますが、本号では詳細を記すことができません。2013年度中にはその一部についての学術論文が出版される予定ですが、これらはブナセンターなど町民の方々の目につくところに置かせていただきますので、ご覧ください。



黒谷入の雪渓沿いでゼンマイ折り



みずみずしいブナハリタケ (かのした)



# 町民文芸



## 只見短歌会

十二月詠草

大塚栄一 指導

小倉キミ子

うかうかと過ごせし雨の一日の何とはなしに後ろめたしも

関谷登美子

団地で観音像を巡り来ぬ清しき面輪に心洗はる

古川 英子

大雪の止みたる夜半に冴えわたる満月見むと半纏羽織る

目黒 富子

落雪の立札の側を入々ら会釈のみして足ばやに過ぐ

馬場 八智

凍み解けの道恐れつつ歩み行き隣に回覧板を届けぬ

五十嵐夏美

知恵遅き子が死ぬなどと繰り返すに母は元氣と大きく笑ふ

渡部ゆき子

師走には希な大雪一晚に一メートル余ぞ今朝も降り継ぐ

渡部ヨリ子

亡き母の古きミシンを出しければ無心に踏みし背を思ひ出づ

新国 洋子

夫の入院われも病みみて年賀状書けざるままに日が過ぎてゆく

( 出 詠 順 )

## 只見俳句会

一月例会

目黒十一 指導

敦子

暮早し宅配の荷の重なりて古戦場金比羅堂も雪五尺

礼

降る雪や途切れ途切れのラジオ音舞うほどの雪美しきかな人送る

信

しんしんと夫婦二人の大晦日豪雪のふるさと想う寒の入

恒夫

角巻の母とおぼしき清の絵助手席に迎えてみたき雪女

修一

格別の笑い声あり大晦日除雪車の音の高さや耳澄す

一灯

数へ日や男の回す洗濯機凍み大根吊す軒先華やげる

邦男

寒の入オリヅランの蔓の伸び菩提寺の庭に差し込む初日かな

又壺歩

元朝や細身に帯の長きこと我が歳を九十二と書く新日記

隆堂

雪搔きに疲れ炬燵に肘枕雪荒れてわずかな視野の峠超ゆ

吉児

上寿まではんなり人生大旦初夢や逢いたき人に逢いにけり

邦夫

奥会津かんじきもある金物屋番鴨楽しそうなる只見ダム

リウコ

派手な服着ても鏡に枯芒診療所混み合う中に風邪の咳

都

暮れの秋赤々燃ゆる阿蘇の夕着ぶくれて手をすり合わせ五十肩

笑羊

母の待つ雪の洞門光りけり“せんべ屋”の光となりし軒氷柱

洋子

暮れ近しふいに飛び立つ鴨の群れドカと雪心残りの事有りて

一穂

感嘆の声の上がりて雪の富士禁煙の部屋を出てきて根雪道

康女

年賀状だけの友あり十四年落雪のつづくや話しフト途絶え





# 今月のお知らせ

## RECRUITMENT

### 募集

#### 平成25年度 地域づくり応援事業

全会津十七市町村等で構成している「あいづふるさと市町村圏協議会」では、地域づくり・人づくりなどを積極的に実践する団体を支援するため、ソフト事業を対象とした補助金を次により交付します。

#### ●募集期間

2月25日(月)～3月18日(月)

#### ●対象事業

広域的な波及効果があるソフト事業、地域の特色・特徴を出したソフト事業、地域間交流につながるソフト事業など。

#### ●補助金額

最大70万円(補助対象経費の3分の2以内)

#### ●申請書

次のいずれかにて入手してください。

- ▽只見町役場総務企画課企画班
- ▽あいづふるさと市町村圏協議会ホームページよりダウンロード
- ▽パーフェクトあいづ  
<http://www.aizu-furusato.com>

▽あいづふるさと市町村圏協議会事務局  
(会津若松市中央3-10-12)

#### ●申請窓口

只見町役場総務企画課企画班

#### ▼問い合わせ

総務企画課企画班  
0244-82-5220  
あいづふるさと市町村圏協議会事務局  
0244-24-6312

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
	☎ 82-5220
企画班	
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221
	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

## 申告は正しくお早めに

●平成24年分の所得税の確定申告受付は2月18日(月)から3月15日(金)まで、消費税及び地方消費税(個人事業者)は4月1日(月)までです。

※税務署の閉庁日(土・日・祝日)は、税務署では相談及び申告書の受付は行っておりません。

また、インフルエンザ等への対応として、申告書作成会場では職員がマスクを着用して執務する場合がありますので、ご理解をお願いいたします。ご来場される際は、感染予防のご協力をお願いいたします。

なお、申告書は、郵便、信書便又はe・Taxによっても提出可能です。

●自宅のパソコンから申告や納税、申請・届出などの手続きができます。e・Taxを利用し

て申告する場合は、①最高3千円の税額控除、②添付書類の提出省略、③還付がスピーディー、④3月15日まで24時間利用可能※ご利用に当たっては事前準備が必要となります。詳しくはe・Taxホームページ(www.e-tax.nta.go.jp)をご覧ください。

●平成24年分の贈与税の申告からe・Taxを利用しての申告が可能となります。

●国税庁では、確定申告を行うための様々なサポートサービスを提供しています。「医療費控除」や「住宅借入金等特別控除」など、どんな書類を用意して、どうすればいいのかよく分からないといった皆様の声から、より分かりやすく、便利なサービスをご利用いただけるように、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)に「確定申告特集ページ」を開設しています。また、「確定申告特集ページ」には東日本大震災に関連した雑損控除や寄附金・義援金に関する取り

## 税 今月の納期

2月25日までに納めましょう

●水道使用料(4期)

●農集排使用料(2月分)

扱いも掲載されております。

確定申告に関する一般的なご相談は、「電話相談センター」をご利用ください。税務署に電話をおかけいただき、自動音声応答(音声ガイダンス)に従って番号「0」を選択してください。

なお、「電話相談センター」には、東北税理士会の会員税理士にも従事いただいております。

●平成24年分の納付期限は、申告所得税は3月15日(金)、消費税及び地方消費税(個人事業者)は4月1日(月)です。なお、納税は振替納税の利用をお願いいたします。平成24年分の振替日は、申告所得税は4月22日(月)、消費税及び地方消費税(個人事業者)は4月24日(水)です。

#### ▼問い合わせ

田島税務署  
0244-1-62-1230  
(音声案内後「2」番を選択)

## 生活

### LIFE

# 「復興支援・住宅エコポイント」を取得された皆さまへ

南会津郡では、次の事業者がエコポイント事業者として登録を受けており、昨年1年間で全国各地からおよそ500万円もの利用があるなど好評を得ています。ぜひ、町民の皆さんも積極的にご利用されますようお知らせします。

また、親戚や知人などお知り合いの方でポイント

をお持ちの方がおられる場合は、お声をかけていただくようお願いします。

なお、復興支援・住宅エコポイント制度の詳細い内容については、住宅エコポイント事務局のホームページをご確認ください。

事業者	事業者コード	交換商品
みなみやま観光株式会社	X065	○日本酒、米、只見の手作りお菓子セット（ヤマサ商店、渡会製菓） ○特選そうざいセット（只見農産ほか）
只見町商工会	Y051	○只見町商業振興協同組合共通商品券(5,000円、10,000円、50,000円) * 町内の33店舗で利用できます。(商品券利用可能店舗)

○住宅エコポイント事務局ホームページ <http://fukko-jutaku.eco-points.jp/>

【問い合わせ】 只見町産業振興課 交流推進班 ☎0241-82-5240



## 『子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）』にご協力を

子どもたちのぜんそくやアトピー性皮膚炎の原因のひとつに、環境化学物質(生活環境の中にある物質)があると考えられています。

環境省ではその原因を明らかにし、病気の予防や子どもたちが健康やかに育つための環境整備に役立てるため、全国10万人の妊婦さんを対象にお子さんが13歳になるまで（参加いただく）調査を平成23年1月から行なっています。

福島県では、福島県立医科大学が県内の全市町村を対象に実施しています。

### ●対象者

福島県内に住民登録がされており、今後も日本国内にお住いの予定で、協力医療機関で出産予定の妊婦さんとその赤ちゃんおよび、お父さん。

### ●調査内容

お母さん…質問票調査のほか、血液、尿、毛髪、母乳を採取します。  
お子さん…質問票調査のほか、出生時にへその緒(さい帯)の血液、入院中に行う先天代謝異常検査と一緒に数滴の血液、毛髪を採取します。  
お父さん…質問票調査のほか、血液を採取します。

詳しい内容は、コールセンターまでお問い合わせください。

【問い合わせ】 エコチル調査コールセンター

☎0120-327-735 (平日9:00~17:00)

【福島県立医科大学 エコチルふくしま ホームページ】

<http://www.ecochil-fukushima.jp/>

## 町 長 室 日 誌

〈 1 月 分 〉

- 4日 仕事始め式（広域消防署只見出張所、こぶし苑、役場本庁、環境衛生組合）
- 5日 只見町新年交歓会
- 6日 只見町消防団消防出初式
- 7日 仕事始め式（広域消防本部、広域圏組合）、年賀知事懇談会
- 8日 県関係機関及び新聞社等年賀挨拶
- 14日 只見ふるさとの雪まつり雪運搬開始式
- 15日 JR東日本本社要望活動
- 16日 県選出国会議員及び国土交通省要望活動
- 18日 あいづふるさと協議会役員会、明和地区振興会設立代議員会
- 20日 自然首都只見学術調査研究発表会、ふるさと只見・人材育成講座閉講式
- 21日 職員退職者連盟只見支部総会、JR只見線全線開通に向けた協議会
- 23日 只見町健康づくり推進協議会、東邦銀行親和会新年会
- 25日 只見町議会1月会議、南会津広域圏組合管理者予算査定
- 26日 HOTけねえとの懇談会
- 27日 第40回毎日杯GS大会
- 29日 JR只見線要望活動（JR東日本本社・県知事要望に同行）、県選出国会議員（自由民主党）との懇談会
- 30日 県選出国会議員（民主党・日本維新の会・新党改革）との懇談会、震災復興等に関する要請活動（関係大臣）
- 31日 第2回JR只見線全線復旧に向けた協議会



# 町民の消息

(1月1日～1月31日届出分・敬称略)

## ■お誕生おめでとうございます

渡部 眞人 (男/敦・あゆみ) 只見  
 渡部 直人 (男/敦・あゆみ) 只見  
 吉田 祐理 (男/大祐・仁美) 只見

## ■ご結婚おめでとうございます

長浜 星和男♡只見小平 恭子  
 福井 五十嵐友人心福井青木 里沙  
 舘ノ川 佐藤亮人心長浜渡部 愛菜

## ■おくやみ申し上げます

梁取 スミイ	71歳	布	沢
星 満	97歳	荒	島
菅家 フミエ	80歳	黒	谷
岩 久	80歳	只	見
皆川 千穂	66歳	黒	只
鈴木 正和	72歳	只	見
矢沢 トミ子	83歳	塩	ノ
船木 ツネ	83歳	黒	谷
菅家 禮子	88歳	黒	石
青 笹	73歳	石	伏
渡部 ツヤ	78歳	只	見

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成25年1月1日現在

人口	4,764 (-16)
男	2,298 (-8)
女	2,466 (-8)
世帯数	1,834 (-9)
高齢化率	41.3%

※高齢化率は、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 3 転出 13 出生 2 死亡 8

▽早くも2月に入りました。立春の前日は節分です。春を迎える喜びとともに一年の災いを祓う節分の豆まきは、奥ゆかしい風習であり、用いられる豆は幸福を呼ぶ豆として親しまれています。今年も、小学校や保育所をはじめ、各集落でも恒例行事として行われています。地区によって、子どもたちが集会所などに集まって行う豆まきや、各家々をめぐり行う豆まきと、スタイルは様々ですが、子どもたちにとって思い切り拾った豆やお菓子が入った袋は宝物です。暖かい春が待ち遠しい光景です。

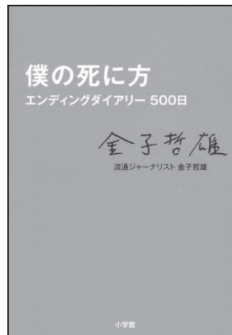
## あとながき

まちづくり推進員  
渡部 敦子

明和地区センター  
図書室 ☎ 86-2111

# おすすめ新着図書

## ★僕の死に方 エンディングダイアリー-500日



金子哲雄/著 (小学館)

「稚ちゃん、生きることと死ぬことって、やっぱり同じだよな」  
 ー 昨年10月、「肺カルチノイド」という急性の難病により、41才の若さで急逝した著者。自分の葬儀を自分でプロデュースしたという点がメディアにも大きく取り上げられていましたが、本書には彼が「余命0」宣告を受け入れて死の準備を整えるまでの悲しみ、苦しみ、葛藤が克明に綴られています。極限状況の中で、自らの仕事、人生に正面から向き合う著者の姿勢、そして全編に一貫した強い夫婦愛に、胸を打たれずにはられません。

## ★おいで、一緒に行こう 福島原発20キロ圏内のペットレスキュー



森絵都/著 (文藝春秋)

福島原発20キロ圏内にやむを得ず置き去りにされた動物たち。人間の立ち入りが禁止されたこの場所で、小さな命を救う活動をしている人々がいます。警察の目を逃れ、検問を突破し、時には嘘をつきながらの救出活動。向こう見ずとも映る活動の、主だったメンバーの多くが家庭を持つ40代の普通の女性たちです。2011年の5月から11月まで著者が同行取材したその様子は生々しく、随所に胸の痛む描写が。もう一つの「3.11」の姿としてぜひ読んでいただきたい1冊です。

★映画化された問題作『悪の教典』、横山秀夫、道尾秀介、湊かなえ、伊坂幸太郎など人気作家の話題作、『かいけつゾロリシリーズ』、こうの史代異色作『ぼおるぺん古事記』、冬のお楽しみ手芸本などを購入しました。どうぞご利用ください。

# 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## スギ花粉の季節がやってくる!

スギ (学名: *Cryptomeria japonica*)

[スギ科 スギ属]

スギは、日本特産で各地に広く自生しており、有用樹種として最も多く植栽されています。材質が軽軟なうえ木目が素直で細工がしやすく、木の香が好まれたことから、建築・工芸・造船・酒造などの用材として利用されてきました。

只見町に植栽されているスギは、本州日本海側の多雪地に見られるウラスギ系で、枝が下垂し樹幹が細長く尖った、多雪地に適応した樹形をしています。

スギは、花粉が風によって運ばれ受粉を行う「風媒植物」で軽量な花粉は風に乗って広範囲に運ばれて行きます。これがスギ花粉症（花粉アレルギー）の原因となり、今では、スギ花粉の生産量・飛散量が重要な社会情報となっています。

スギ花粉の生産量・飛散量は、前年度の夏の気候によって左右されると言われており、気温が高く日射量が多いと翌年の花粉が多いと言われています。逆に雨量が多く湿度が高いと少なくなります。

1月17日にスギの写真を撮影に行きましたが、枝先に雄花がたくさんついていました（写真参照）。このことから、今年は只見地域でスギ花粉の大量飛散が予測され、花粉症対策が求められそうです。



枝先にびっしりとついた雄花

### 企画展示

#### ○「只見の巨樹・巨木」展

只見町の巨樹や巨木をパネル展示で紹介いたします。

期 間：1月5日（土）～4月15日（月）

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

## 只見町豪雪対策本部を設置

昨年からの豪雪により、1月31日、午前7時30分現在での只見町大字寄岩地内観測点の積雪深が2m47cmとなり、今後も雪が降り続くこと、災害の発生や住民生活に重大な支障を来す恐れが予想されるため、2月1日午前10時00分「只見町豪雪対策本部」を設置しました。町では今後、交通の確保や住民生活安定のために一層の努力をしていきますので、町民皆様のご協力をお願いします。

今後は雪により、事故や被害が発生した場合には、只見・朝日・明和地区センターや役場町民生活課など、次の機関までご連絡ください。

なお、除雪作業は十分に気をつけて行ってください。

#### 【連絡先電話番号】

- ▽町民生活課 82-5100
- ▽只見地区センター 82-2141
- ▽朝日地区センター 84-2111
- ▽明和地区センター 86-2111
- ▽環境整備課（町道除雪関係） 82-5270
- ▽山口土木事務所（国道除雪関係） 72-2234

